



あのときの常呂・写真館

VOL 164

(1998年)

平成10年7月20日

移動図書館車「はまかぜ号」命名式

▶公共図書館は、地域全体をサービスの対象としています。この当時、網走管内の小さな町では、置戸町に代表される移動図書館車で地域全域を巡回する方式が定着していました。常呂町は公民館図書室でしたが、図書館本来のサービスに近づけるためにこの年移動図書館車を運行する予算が確保できました。●常呂町所有で廃車になったマイクロバスを移動図書館に改造し、7月20日に愛称「はまかぜ号」の命名式を行い、8月から運行を開始しました。●社会教育広報「ふっくらポケット」7月号では「91もの愛称が集まり、公民館運営審議会の協議を経て愛称が決まったことと海からの風に乗って町内のあちこちに本を届ける図書館サービスにぴったりの名前」と記し、「広報ところ」8月号では「命名式が中央公民館前で行われたこと、名付け親の東生野さんと車体のデザインを担当した古川敬さんに教育委員長から表彰状を贈ったこと、そして命名式に参加した町民がバスの中を見たり、本を借りたり」したことを伝えています。





*左上：テープカット

*上：名付け親の東生野さんに感謝状

*左：車体デザインとカードデザインを担当した古川敬さんに感謝状

*下：はまかぜ号内部

手前右側に入出口、左手前に貸出用の机、表紙見せの棚





- *右上：正面斜めに見たはまかぜ号
 - *上：はまかぜ号のロゴ（古川敬さんのデザイン）
 - *左：図書館カード（デザインは古川敬さん）
- 図書館名が変わっていますが、デザインは当時からこのまま。右上空白部分に利用者の名前とバーコードを印刷

●車体の色は、元々描かれていたバスの色や模様を隠すためにかなり濃い色に仕上げていました。本棚のストッパーや表紙見せの棚、貸出用机など改造を請け負った事業者と打合せを繰り返して完成した「はまかぜ号」でした。

●運行開始直後は、町内各所の団地も巡回しましたが、地域性から平日の日中は不在が多く利用が少ないため、じきに2週間を単位として保育所・小学校を中心に巡回する現在の形になっています。

●この後、常呂町公民館図書室は現在の機能に近いサービスや活動を年次的に始めました。

①夜間開館（火～土 午後8時まで）：平成11年5月開始、②コンピュータ化：平成11年7月稼働、③ホームページの開設（新刊案内・事業案内）：平成13年3月、幼児向け絵本のお届けサービス「ペンぎんクラブ」スタート（初年度10組利用）：平成14年4月などです。

●また、児童書の紹介を中心とした情報紙「スキップ・ビート」は平成7年12月から発行し、平成15年3月まで発行しています。その後も、新刊案内など断続的に情報紙の発行を続けています。

●「はまかぜ号」は、元々昭和58年車だったこともあり、老朽化が著しくなりました。小学校の廃校や幼児・児童の減少が進んでいく中、これまでのマイクロバスからハイルーフ・ワイド&ロングボディのワゴン車タイプへの切りかえを検討し、平成23年11月から2台目の「はまかぜ号」を運行させています。初代のはまかぜ号が運行した当時、保育所は常呂・かもめ・錦水・川治・日吉の5ヶ所、小学校は常呂・錦水・川治・日吉・富丘の5校でしたが、現在では保育所3ヶ所（常呂・かもめ・錦水）、小学校3校（常呂・錦水・川治）に減少しています。



*この3枚は、2台目の「はまかぜ号」
ロゴマークはそのまま使用しています

